



茅ヶ崎同盟教会クリスマス学校だより

2008年度年間暗誦聖句 (こどもさんびか 77 番)

神は、そのひとり子をたまわったほどに、この世を愛してくださった。

それは、み子をしんじるものが、ひとりもほろびないで、えいえんのいのちをえるためである。神が、み子を世につかわされたのは、世をさばくためではなく、み子によって、この世がすくわれるためである。

(口語訳)

ヨハネによる福音書 3 章 16 ~ 17 節

2008年度のクリスマス祝会は12月21日の礼拝後に行われました。大人から子どもまでが参加すること、そして若者に活躍の場を提供し、楽しい祝会にしようという準備を進めました。CS ジュニア科を担当している弓桁あずさ姉がレポートいたします。



2008年クリスマス祝会レポート

(弓桁あずさ 記)



「予想外」の連続だった・・・始めから終わりまで。今年はハンドベルの演奏がなかったので、会場の椅子の配置もプログラムもいつもとは違っていたが、なによりぞろぞろ絵本の会の子どもたちが来てくれたので、2階(控え室)は大わらわであったという。12時45分からページントを始める予定であったが、子どもたちの食事時間が「予想外」にかかり、「予想外」の子どもたちの人数に役の振り分けが大変で、「予想外」のキャスティングとなり、その結果、着替え時間も「予想外」にかかって、子どもたちが準備万端で2階から降りてきたのが1時であった。会堂で昼食をとっていた大人たちは12時半過ぎには食べ終わり、さて、どうしようか。





急きょプログラムを大幅変更し、讃美歌「神のみ子は」を歌って開会した祝会は、「予想外」にもチャイム演奏から始まった。「きよしこのよる」の演奏では、富井美佐子先生が昨年に引き続き、きれいなオブリガートを歌って下さり、美しい音色が会堂中に響きわたった。「世界ではじめのクリスマス」は最初の音が取れず、これも特に佐山姉には「予想外」の出来事であったろう。

茅ヶ崎同盟教会名物の、リハーサルなしのぶっつけ本番、「予想外」だらけのページェントの始まりである。「予想外」の子どもの人数にも関わらず、だれもヨセフと3人目の博士をやる者がいないので、稲津姉がヨセフを、加藤姉が博士をやることになった。「予想外」のキャスティングである。“宿さがし”の場面では、予定では“例の会”の男性に（女装させて）宿屋さんの役をやってもらうことになっていたが、CS教師の頭の中で勝手に想像してただけで、だれもそのことを“例の会”に連絡していなかったの、急きょ教師でやるという・・・これも「予想外」の展開であった。身長は変わらない、横幅だけ違う博士の登場があったが、感心したのは博士を演じた芽衣ちゃんと瑠威君がセリフを全部暗記していて、完璧に演じたことであった。ジュニアの男子2人がちょっとコワイ牛の描いてあ





る絵を持って登場した時には、会場全体が笑った。彼らは預言者イザヤとミカも演じてくれたのである。

木島姉妹のコーラス、本当に素晴らしかった。彼女らの息のあった清らかな歌声、会場が静まり返った。

リリースのコーラス。「予想外」のイケメン登場。メンバーの1人、鈴木美和さんの息子さんの祐樹君である。鈴木さんは、祝会の写真を撮ってくださって

いた松井さんの娘さん、したがって祐樹君は松井さんのお孫さんである。アンコールで彼だけ舞台に上がり、しかも顔がよく見えるように“おばさん”は楽譜持ちまで引き受けたのであった(掲載写真参照)。

「予想外」の連続で、すでに時計は2時を回っていた。バンド演奏へとプログラムを進めることになったが、その準備中に、“絵本の会”のメンバーが巻物絵本を披露して下さった。その絵の見事さ、それに稲津姉のバスを走らせながらの軽快な読み聞かせに、子どもならずとも魅了させられた。“あわてんぼうのサンタクロース”では、「予想外」にも牛乳パックで作られたサンタさんの糸がこん



がらがり、1番と5番だけを歌って終わってしまった。そして恒例の稲津さんのゴリラ。これがなければ茅ヶ崎同盟教会のクリスマス祝会ではない！「想定内」のことである。その前に行われたジャンケンゲームにも笑ってしまった。子ども達は稲津姉と勝負をするのだが、一度出したはずのジャンケン



を、あるいはあいこになるように(まねしてしまうのかも)変えてしまうので、一向に勝負がつかないのである。これも「想定内」のことかもしれない。

バンド演奏が始まった。子ども達はお腹に響く音

を聴き、口をあけて見ていたが、それを見るのが愉快であった。「予想外」というより「想定内」というべきか、“ベンチャーズ”が一番よかった!“おばさん、おじさん”には・・・。

讃美歌「もろびとこぞりて」を歌って、熊谷先生にお祈りをさせていただき、祝会は終わりになった。「予想外」のハプニング続きに、楽しい時を過ごせたことに対する神様への感謝と、心地よい疲れを感じながら、家路についた1人ひとりであった。



編集後記 (Dec.24th. 2008 Updated)



2008年度CSの大きなイベント、クリスマス祝会を12月21日クリスマス礼拝の午後に行いました。絵本大好きの会のメンバーも参加してくださり、ハプニング満載の大変賑やかな祝会となりました。本年度も春の教師紹介号から始まりイースター、ビーチプレイ・デイ、夏期学校、分級紹介、収穫感謝と教会学校の活動をホームページを通じて紹介できました主の恵みに感謝します。12月24日夜の、キャロリングとキャンドルサービスが終ると新年を迎えます。(森本)

